

朝礼 校長講話（10月22日）

日に日に冬服を着る子が多くなり、目で見て季節の移り変わりを感じています。そして今日は、耳でそれを感じました。それは、咳き込む人が増えてきたことです。コンコンとつらそうな咳をしたり、マスクをしている人も多くいます。先週はテストもありましたから無理をしたのでしょうか。また、週末には部活動や大会などもいくつかありましたから、そこでもがんばりすぎたかもしれませんね。いつも言うように、体調管理には十分に気をつけてください。

先日、尾張の校長先生たちの集まりがあり、知多半島の校長先生からこんな話を聞きました。それは「インフルエンザ」の話です。9月のまだ暑い時期に知多半島のある学校ではインフルエンザがはやったそうです。皆さんもそうですが、先生も、インフルエンザは冬に流行すると思っていました。それが、9月の暑い時期に流行するなんてとても不思議に思っていました。そして、会の中で、そのことについて話を聞くことができました。その学校は弥富中学校と同じで教室にエアコンが入っているそうです。ですから、9月はまだ暑かったので、部活動や体育の授業などで汗をかくだろうということエアコンを使っていたそうです。そして、せっかく教室が涼しくなったからそれが漏れないように、出入り口や窓を閉め切った状態にして何時間も過ごしたそうです。もちろん、授業と授業の合間には多少の人の出入りはありますが、開けたのはその程度だったそうです。その結果、インフルエンザのウイルスが教室に広がって多くの子がそれにかかってしまったということでした。

もちろん、それだけが原因ではないかもしれませんが、換気、空気の入れ替えがどれほど大切かということを知りました。これからだんだん寒くなってくると、今度は教室を暖めるためにエアコンを使います。今まで使っていたストーブは使わない予定です。しかし、教室が暖かくなったからといって閉め切ったままにしておくと、インフルエンザや風邪が広がってしまうかもしれませんので、換気をしっかりしてほしいと思います。そして、それはエアコンをつけた時だけのことでなく、今も必要なことですので、窓や入口を開け、新鮮な空気を教室に取り込んでください。また、今、咳をしている人は、マスクはもちろん、手洗いやうがいなどももう進んで行ってほしいと思います。